

# 平成30年度芦別市各会計予算の概要

**全会計 189億8,130万円** (対前年度比  $\Delta$  2.1%)

一般会計	108億5,000万円 (対前年度比 $\Delta$ 3.3%)
特別会計	51億1,336万円 (対前年度比 $\Delta$ 9.3%)
企業会計	30億1,794万円 (対前年度比 $\Delta$ 6.9%)

$\Delta$ はマイナス

平成30年度の予算につきましては、市民の安全・安心な暮らしと力強く伸びるまちづくりを進める意を含め「安暮強伸」予算と銘打ち、第5次芦別市総合計画および、芦別市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる事業の推進並びに行政サービスの維持向上、地域経済の活性化、雇用対策に必要な予算を盛り込んで編成しました。

## ■一般会計予算総額 108億5,000万円

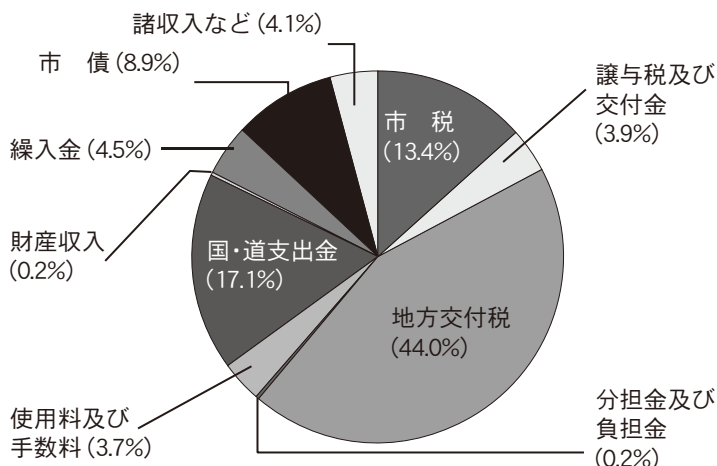
(経常費 98億6,930万円 事業費 9億8,070万円)

### ●歳入の内訳

$\Delta$ はマイナス

科目	当初予算額	対前年度比
市 税	14億5,679万円	$\Delta$ 1.3%
譲与税及び交付金	4億2,507万円	5.7%
地方交付税	47億7,000万円	$\Delta$ 0.8%
分担金及び負担金	1,760万円	$\Delta$ 9.9%
使用料及び手数料	4億 671万円	1.3%
国・道支出金	18億5,212万円	11.2%
財産収入	2,040万円	$\Delta$ 18.6%
繰入金	4億9,061万円	19.9%
市 債	9億6,060万円	38.2%
諸収入など	4億5,010万円	$\Delta$ 24.9%
合 計	108億5,000万円	3.3%

### 【当初予算額の収入構成】( )内は予算に占める比率

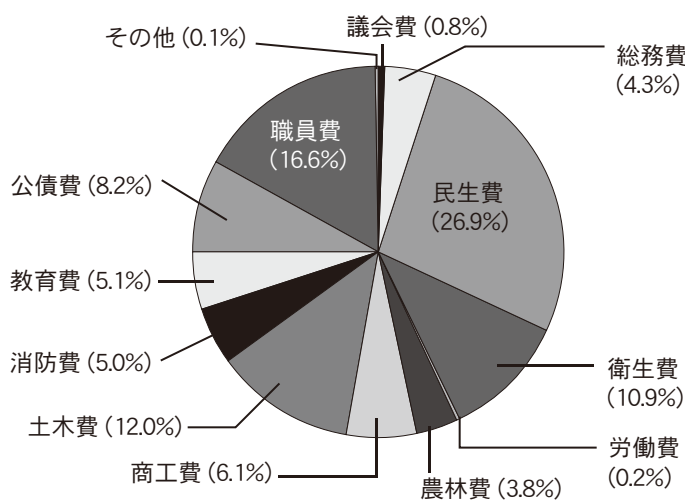


### ●歳出の内訳

$\Delta$ はマイナス

科目	当初予算額	対前年度比
議 会 費	8,567万円	$\Delta$ 5.4%
総 務 費	4億6,434万円	$\Delta$ 14.9%
民 生 費	29億2,423万円	$\Delta$ 1.3%
衛 生 費	11億8,910万円	$\Delta$ 9.5%
労 働 費	1,737万円	$\Delta$ 15.6%
農 林 費	4億1,211万円	$\Delta$ 4.5%
商 工 費	6億6,053万円	12.3%
土 木 費	13億 333万円	59.4%
消 防 費	5億3,851万円	24.4%
教 育 費	5億5,309万円	3.6%
公 債 費	8億8,696万円	0.0%
職 員 費	18億 475万円	$\Delta$ 2.4%
そ の 他	1,001万円	$\Delta$ 62.3%
合 計	108億5,000万円	3.3%

### 【当初予算額の支出構成】( )内は予算に占める比率



### ●当初予算 (108億5,000万円)

市民 1人あたりの予算	1世帯あたりの予算
77万5,554円	140万6,716円

平成30年 1月31日現在

・人口 / 1万 3,990人 ・世帯数 / 7,713世帯

■特別会計の内訳 △はマイナス

会計名	予算額	前年度対比
奨学資金	4,630万円	32.6%
国民健康保険	22億1,079万円	△19.2%
下水道事業	5億7,997万円	△5.7%
介護保険事業	18億8,258万円	0.1%
介護サービス事業	1億996万円	10.0%
後期高齢者医療	2億8,376万円	4.0%
合計	51億1,336万円	△9.3%

■企業会計の内訳 △はマイナス

会計名	収支区分	予算額	前年度対比
病院事業	収益的	収入	20億6,551万円 6.6%
		支出	20億3,024万円 △4.3%
	資本的	収入	6,815万円 △57.7%
		支出	1億2,421万円 △53.1%
水道事業	収益的	収入	4億7,576万円 △5.2%
		支出	4億7,176万円 △5.0%
	資本的	収入	2億9,804万円 11.3%
		支出	3億9,173万円 8.5%

## 平成30年度の主な事業

■まちづくり推進事業

芦別市まちづくり推進事業補助金として、新たに団体が取り組む地域活性化のための活動や、地域の課題解決を図るための活動に対して支援する。

■子ども・子育て支援事業

私立芦別みどり幼稚園の施設型給付事業及び一時預かり事業の実施に伴い、同園と延長保育事業業務を委託し、子ども・子育て支援事業の充実を図る。

■生活習慣病予防対策事業

生活習慣病等に対する市民一人ひとりの健康増進を図るため、健康増進法に基づき健康相談、健康教育、各種がん検診などの訪問指導及び健康づくり事業を実施する。また、小・中学生にがんに対する正しい知識を伝えるため、学校と連携してがん教育を実施する。

■農業振興対策事業

芦別市農業振興条例の助成制度に基づき、農業団体等を対象とした加工による付加価値の付与や、販路拡大に向けた特産品開発等に対し補助することにより取り組みを支援する。

■林業振興対策事業

北海道立林業学校の誘致に向けて「芦別市北海道立林業学校設立・誘致期成会」をはじめとし、関係機関・団体が一体となり情報収集に努めながら活動を展開する。

■観光振興推進事業

平成30年度に一般社団法人として芦別観光協会が独立することを受け、本市の観光振興の役割を担うための運営を支援する。

■専門学校・大学による高等教育推進事業

専門学校北日本自動車大学校に入学する学生を確保するため、奨励金の交付要件であった住所要件を廃止し、一定額を補助することにより学資負担の軽減を図る。また、学生寮の入寮費を一部補助することにより入学者の確保を図る。

■高等学校教育推進事業

星槎国際高等学校に入学する生徒を確保するため、奨励金の交付要件であった住所要件を廃止し、一定額を補助することにより学資負担の軽減を図る。

■健民センター整備事業

芦別温泉スターライトホテル「星遊館」の再整備を図るため、今年度は別棟として機械室を建設し、翌年度には浴室、露天風呂等のリニューアル工事を実施する。

■芦別駅前広場等整備事業

芦別駅前における地域公共交通機能の向上と駅前地区の活性化を図るため、JR、バス、タクシーによる交通拠点として整備を実施する。

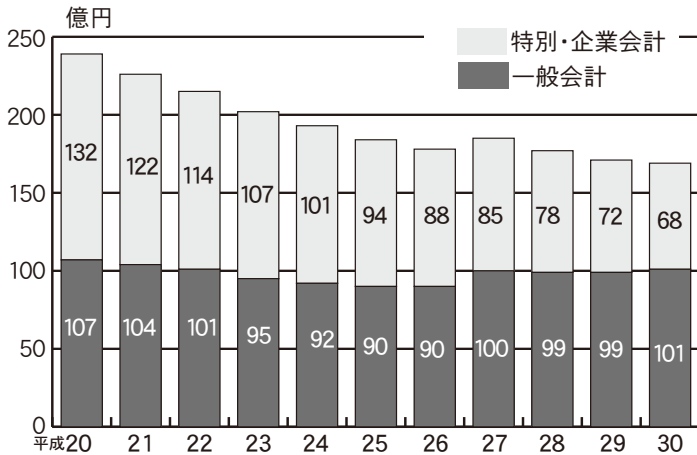
■橋りょう整備事業

常磐町の三角橋架替工事を実施し供用開始するとともに、旧橋の撤去工事を行う。

■公営住宅建替事業

公営住宅「すみれ団地」の建替事業に着手し、年次計画に基づき住宅7棟40戸の建設を実施する。

## 市債残高(市の借金)の推移



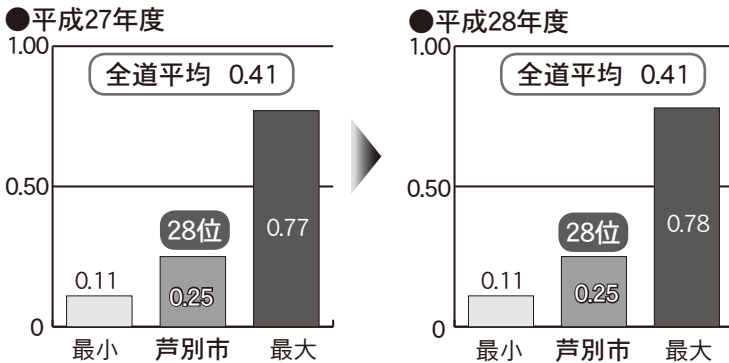
市債とは、学校や道路、公園などのように長期にわたって市民の皆さんが利用することができ、多額の建設資金が必要となる事業などの財源に充てるため、政府や銀行などから調達する長期的な借入金のこと、一般家庭でいう借金にあたるものです。

借金があまり多くなると、返済にかかる経費(公債費)が長期にわたって市の財源を圧迫するため、芦別市では、新たな市債借入の抑制など、市債残高の適正化に取り組んでいます。

※平成20～28年度は決算額、平成29年度は決算見込み額、平成30年度は予算額

## 各指標に基づく全道35市の中の芦別市の順位

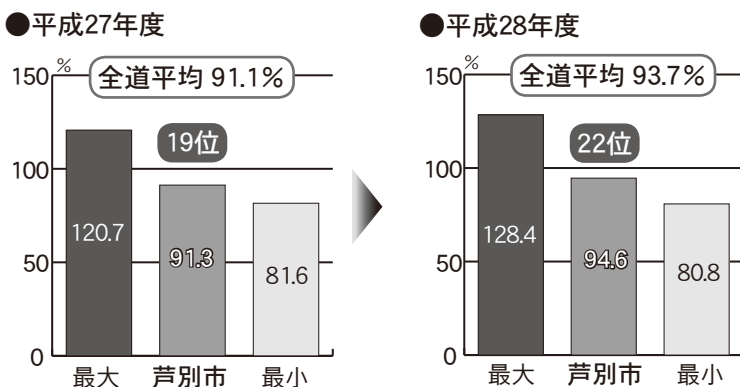
### 財政体力を示す「財政力指数」(数字が大きい方が、より健全)



市の人口や面積などに応じ標準的にかかるお金に対して、自主的な収入(市の税金や各種使用料など)がどの程度あるかを示す指標です。

数値が「1」であれば、100%自主的な収入で市の運営ができることになります。

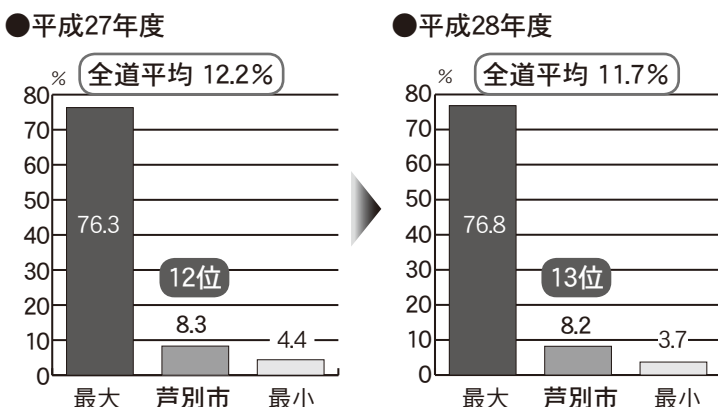
### 財政自由度のバロメーター「経常収支比率」(数字が小さい方が、より健全)



市の税金や地方交付税など毎年決まって入ってくるお金(経常的な収入)に対して、人件費や施設の維持管理費など毎年決まって出て行くお金(経常的な経費)がどの程度の割合になっているかを示す指標です。

数値が「100%」の場合、決まって入ってくるお金のすべてが決まった支出として出て行くため、その年に自由に使えるお金はゼロということになります。75%程度が妥当とされています。

### 体力以上の借金負担がないかをチェックする「実質公債費比率」(数字が小さい方が、より健全)



市の税金や地方交付税など毎年決まって入ってくるお金(経常的な収入)に対して、借入額(市債)の返済にあてた経費(公債費)がどの程度の割合になるかを示す指標です。

過去3年間の平均値が18%以上の団体は、地方債の発行について総務大臣などの許可が必要となり、25%以上になると一部の地方債の発行が原則として制限されます。